

原 著

PC自習室更改による学生満足度と利用状況

新 子 広 美

四條畷学園大学 リハビリテーション学部 PC 担当

要 旨

現代社会においてパソコンの普及は目覚ましく、高等教育機関としての大学の情報教育も高度化している。本学においてもパソコンは学習ツールとして不可欠なものであり、大きく転換しつつあるニーズに対応するため、2011年9月にPC自習室の更改を行った。本稿は更改前後の利用状況を学生にアンケート調査を実施した結果の報告である。更改により全体の70%以上が以前よりも快適になったと回答し、利用頻度、利用時間数全てに増加傾向が見られた。また、男子学生に比べ女子学生の方が比較的長時間利用し、上級生になるほど落ち着いた静かな環境を必要とするなど、学年別や性別での特徴がみられた。

キーワード

大学, 自習室, 満足度, アンケート調査

1. はじめに

現代社会において、パーソナルコンピュータ(PC)は急速に普及し、私たちの生活の一部となっている。日本で最初にPCが発売されたのは1970年代末のことであり、急速に普及したのは1993年以降のMicrosoftによるWindows 3.1の発売と同時期である。また、社会における急速なPCの普及に伴い、2002年から高等学校で情報に関する授業が行われ、2005年にはこれらの授業を履修した学生が大学に入学してきており、これに応じて、高等教育機関としての大学の情報教育も大きく転換してきている。

本学においても教育におけるPCは、学習ツールとして不可欠なものになっている。学生がPCを使用する目的は、インターネットでの一般情報の取得や学内ポータルサイトでの授業情報の取得、授業レポートや論文の作成、印刷、メールなど多岐にわたる。また、一部の講義のストリーミング配信が開始されるなど、記録動画の閲覧も可能になった。従来の自習室内のPCは動作不具合が多く発生し、とても快適な使用環境とは言い難く、学生からも満足に使用できないとの声が聞かれていた。また、予約せずに入室したことで1か月以上PCの利用を禁止されるなど、予約制度とその罰則に対する学生からの不満も多かった。これらの学生の不満を解消するには、機器類が十分に使える環境を整えること、また今後増え

ると予測される動画再生にもスムーズに対応できるように環境に改善することが重要であると考え、2011年9月にPC教室とPC自習室の機器の更改を行った。そこで本稿は、更改後4か月経過し、今回の更改によって学生の利用状況がどのように変化したか、学生は十分に利用できているか、また、更に快適な環境作りを目的とし、アンケート調査を実施したので、その実施内容と結果の概要を報告する。

2. 調査概要

2-1 目 的

本調査は、本学の情報教育における高度化の必要性と、その方向性を検討するために行うものである。情報教育の高度化に関しては、社会や家庭における情報の高度化の進展状況と情報教育に対しての要望が重要な要因となる。そのため高等教育機関としての本学の情報教育に関する特徴と、そこから発生する諸問題を明らかにする必要があるが、これまで本学にはその基礎となる資料がなかった。そこで、本調査は本学の情報教育の充実と今後の施策の確立に必要な基礎的資料を得ることを目的とした。

2-2 方 法

本調査は、在籍する理学療法専攻(PT)、作業療法

学専攻 (OT) のそれぞれ1年生から4年生を対象 (5年生以上は登校日が不明なため除外) とし, 2011年12月6日から2012年1月11日の期間に, 質問紙形式で実施した。

2-3 内 容

2011年9月にPC教室とPC自習室の更改を行った。同時にPC自習室の予約制度を撤廃し, 自習室の自由化を図った。今回はPC自習室について, 更改前後で学生の利用状況がどのように変化したか, 更改によって満足度は上がったか, また, 更に快適な環境にするために現状でどのような点に不満があるのか, を知るためアンケート調査を実施した。

質問内容は22項目で, 大きく4種類に分けて構成し, 以下の項目とした。

- 1) 更改以前の利用状況
- 2) 現在の利用状況
- 3) 現在の環境を5段階で評価
- 4) 予約制度について

アンケート結果は, 専攻別, 学年別, 男女別にデータを収集した。

3. 調査結果

結果の前に, 2011年9月のPC更改前後の機器環境の相違点を表1に示した。

表1 更改前と更改後の機器環境

	更改前	更改後
台数	27台	28台
使用可能台数	20台	28台
OS/アプリケーション	XP・Vista/ Office2003.2007	Windows7/Office2010
プリンタ	1台	1台

※プリンタ・ディスプレイ・マウスは更改なし

更改前は, 機器の不具合率が非常に高く, 本体の故障などで7台は使用不可能な状態であった。使用可能な残りの台も, 起動に10分以上かかるものや, 起動途中でフリーズを起こし再起動が必要になるものがあり, とても快適に使用できる状態とは言えなかった。新しい環境では, 本体のみ変更 (モニターとマウスは再利用) し, ソフトはWindows 7, Office 2010に統一した。また, 自習室内の各PCにパソコン運用支援ソフト (「瞬快 ver.10」富士通四国システムズ) を導入することで, 利用者の特

定・使用状況の監視・遠隔操作などが可能になり, 学生の利用状況の把握とPC管理が管理者側で行えるようになった。これにより更改前に存在した予約制度を廃止し, 自由化を図った。また, ログイン状態で長時間放置されることのないよう (1)PC起動後30分間操作がない場合は自動的にシャットダウンする, (2)退校時間の21:00に自動的にシャットダウンするという2つのルールを運用ソフト上で設定した。更改前にはUSBを通じて頻繁にウイルス侵入のトラブルが発生していたが, 更改後はシャットダウン時に使用前の環境に復元することで, ウィルス侵入によるトラブルがほぼなくなり, 学生にUSBメモリを積極的に使用させることが可能になった。機器は「瞬快」の動作を安定させるため, 富士通製を選定した。

アンケート結果

回答数は, 理学療法学専攻 (PT), 作業療法学専攻 (OT) のそれぞれ1年生から4年生の258名。回答数の内訳は, 表2の通りである。

表2 アンケート回答数

	男子		女子		合計
	PT	OT	PT	OT	
1年	24	22	20	19	85
2年	25	8	14	11	58
3年	25	4	26	9	64
4年	12	8	20	11	51
合計	86	42	80	50	258

質問項目とアンケート集計結果は以下の通りである。

表3 更改前の利用状況

アンケート項目		全体 n=258	専攻別		性別		学年別			
			PT n=166	OT n=92	男 n=128	女 n=130	1年 n=85	2年 n=58	3年 n=64	4年 n=51
問1. どれくらいの頻度で利用していましたか？	ほぼ毎日	0.8%	0.6%	1.1%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.9%
	週に3~4日	10.5%	10.8%	9.8%	6.3%	14.8%	0.0%	19.0%	9.4%	19.6%
	週に1~2回	48.8%	54.2%	39.1%	51.6%	46.9%	20.0%	65.5%	71.9%	49.0%
	月に1~2回	22.9%	25.9%	17.4%	18.0%	28.1%	30.6%	8.6%	14.1%	37.3%
	年に数回	2.7%	1.2%	5.4%	3.1%	2.3%	8.2%	0.0%	0.0%	0.0%
	ほとんど利用しない 利用したことがない	13.6%	9.6%	20.7%	15.6%	11.7%	30.6%	5.2%	3.1%	7.8%
問2. 1日に利用する時間は平均どれくらいでしたか？	1時間以内	25.6%	22.3%	31.5%	32.8%	18.8%	44.7%	19.0%	21.9%	5.9%
	1~2時間	49.6%	53.6%	42.4%	53.1%	46.9%	40.0%	62.1%	56.3%	43.1%
	2~4時間	17.8%	18.1%	17.4%	7.8%	28.1%	3.5%	15.5%	20.3%	41.2%
	4時間以上	2.3%	1.8%	3.3%	1.6%	3.1%	0.0%	1.7%	0.0%	9.8%
問3. 利用頻度の高かった時間帯を選んで下さい(複数回答)	8:40~12:15	9.3%	11.4%	5.4%	6.3%	12.5%	9.3%	10.3%	6.3%	11.8%
	12:15~13:15	28.3%	27.1%	30.4%	34.4%	22.7%	28.3%	31.0%	18.8%	17.6%
	13:15~16:40	26.4%	26.5%	26.1%	25.0%	28.1%	26.4%	31.0%	0.0%	43.1%
	16:40以降	53.1%	55.4%	48.9%	51.6%	55.5%	53.1%	65.5%	81.3%	62.7%
問4. 16:40以降も予約ができることを知っていましたか？	知っていた	57.0%	69.3%	34.8%	53.9%	60.9%	57.0%	72.4%	78.1%	49.0%
	知らなかった	27.5%	23.5%	34.8%	31.3%	24.2%	27.5%	12.1%	18.8%	11.8%
	どちらともいえない	5.4%	3.0%	9.8%	6.3%	4.7%	5.4%	12.1%	1.6%	2.0%

表4 現在の利用状況

アンケート項目		全体 n=258	専攻別		性別		学年別			
			PT n=166	OT n=92	男 n=128	女 n=130	1年 n=85	2年 n=58	3年 n=64	4年 n=51
問1. 以前に比べて利用回数は増えましたか？	増えた	43.4%	44.6%	41.3%	46.1%	41.4%	49.4%	20.7%	62.5%	35.3%
	変わらない	45.7%	43.4%	50.0%	43.0%	49.2%	44.7%	62.1%	28.1%	51.0%
	減った	8.1%	9.0%	6.5%	7.8%	8.6%	3.5%	15.5%	4.7%	11.8%
	わからない	2.3%	3.0%	1.1%	3.1%	1.6%	2.4%	1.7%	4.7%	0.0%
問2. どれくらいの頻度で利用していますか？	ほぼ毎日	1.6%	1.8%	1.1%	0.8%	2.3%	0.0%	1.7%	4.7%	0.0%
	週に3~4日	20.2%	25.3%	10.9%	24.2%	16.4%	1.2%	12.1%	48.4%	25.5%
	週に1~2回	45.7%	42.8%	51.1%	41.4%	50.8%	41.2%	53.4%	40.6%	51.0%
	月に1~2回	23.6%	22.9%	25.0%	22.7%	25.0%	36.5%	25.9%	6.3%	21.6%
	年に数回	2.7%	2.4%	3.3%	2.3%	3.1%	8.2%	0.0%	0.0%	0.0%
	ほとんど利用しない 利用したことがない	6.2%	4.8%	8.7%	8.6%	3.9%	12.9%	6.9%	0.0%	2.0%
問3. 1日に利用する時間は平均どれくらいですか？	1時間以内	28.3%	27.1%	30.4%	33.6%	23.4%	44.7%	27.6%	17.2%	15.7%
	1~2時間	52.7%	53.6%	51.1%	54.7%	51.6%	48.2%	62.1%	56.3%	45.1%
	2~4時間	20.2%	21.7%	17.4%	15.6%	25.0%	5.9%	10.3%	34.4%	37.3%
	4時間以上	0.4%	0.6%	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%
問4. 使用頻度の高い時間帯を選んで下さい(複数回答)	8:40以前	4.7%	6.0%	2.2%	2.3%	7.0%	0.0%	3.4%	14.1%	2.0%
	8:40~12:15	17.4%	17.5%	17.4%	10.9%	24.2%	17.6%	24.1%	4.7%	25.5%
	12:15~13:15	41.9%	40.4%	44.6%	51.6%	32.8%	55.3%	41.4%	42.2%	19.6%
	13:15~16:40	32.9%	33.7%	31.5%	30.5%	35.9%	31.8%	36.2%	4.7%	66.7%
問5. どのような目的で使用していますか？(複数回答)	16:40以降	54.3%	57.2%	48.9%	54.7%	54.7%	27.1%	62.1%	89.1%	47.1%
	自習学習	24.0%	25.3%	21.7%	27.3%	21.1%	7.1%	41.4%	29.7%	25.5%
	課題・レポート作成	87.6%	84.9%	92.4%	89.8%	86.7%	78.8%	96.6%	96.9%	80.4%
	論文作成	18.6%	17.5%	20.7%	21.9%	15.6%	8.2%	5.2%	10.9%	60.8%
	印刷	56.2%	59.6%	50.0%	53.1%	60.2%	18.8%	67.2%	73.4%	84.3%
	文献検索・調べ物	48.8%	51.2%	44.6%	45.3%	53.1%	32.9%	58.6%	60.9%	49.0%
インターネットの閲覧	19.0%	16.3%	23.9%	13.3%	25.0%	8.2%	31.0%	14.1%	29.4%	
	その他	3.1%	4.8%	0.0%	5.5%	0.8%	5.9%	0.0%	3.1%	2.0%

1) 更改以前の利用状況 (表 3)

問1「どれくらいの頻度で使用していましたか?」では、更改前は、「週に2回以上利用する」が全体の約60%であり、性別による違いはなかったが、学年別・専攻別に違いがみられた。学年別で見ると、2年が84.5%、3年が72.5%、4年が81.3%であるのに対し、1年の利用は20%と他学年に比べ約1/4の利用率であった。また、専攻別では、PTが65.6%、OTが50.1%でPTの方がOTより約15%高い利用率であった。問2「1日に利用する時間は平均どれくらいでしたか?」では、全体の約80%が2時間以内の利用であり、学年・専攻・性別による違いはほとんど見られなかった。問3「利用頻度の高かった時間帯」では、3年生は他学年がよく利用する「13:15~16:40」が0%で、利用する時間帯に大きな特徴が見られた。問4「16:40以降も利用できることを知っていましたか?」では全体の33%が「知らなかった」「どちらとも言えない」と回答し、学年別で見ると、上級生になるほどその数値は下がっている。

2) 現在の利用状況 (表 4)

問1「以前と比べて利用回数は増えましたか?」では、全体の43.4%が増えたと回答し、3年の利用が62.5%と特に増えていた。問2「どれくらいの頻度で使用していましたか?」では、更改後は全体の67.5%が週に1回以上の頻度で利用していると回答した。専攻別・性別による差はみられなかったが、学年別では1年が42.4%、2年が67.2%、3年が93.8%、4年が76.5%と、学年により大きな差が見られた。ほとんど利用しないと回答した学生も、他学年が7%以下であるのに対し、1年は12.9%とやや多かった。専攻別では、更改前はPTとOTで約15%の差があったものの、更改後は約5%の差となり、差は縮小した。問3「1日に利用する時間は平均どれくらいですか?」では、全体の81%が2時間以内の利用であり、専攻別では特に差は見られなかったが、学年別では、1年が92.9%、2年が89.7%、3年が73.4%、4年が60.8%と学年が下がるほど短時間の利用が増えており、性別では、男子88.3%に対し、女子は75.0%と13%の差が見られた。更改前後での大きな違いはなかったが、性別では、2時間以上利用する男子学生が約5%増えていた。問4「使用頻度の高い時間帯」では、全体の約5%が8:40以前の利用をしている。また、総的に授業のない時間帯の利用が多いが、男子は利用時間帯に大きな偏りがあり、昼休みと16:40以降が50%以上であったのに対し、女

子には時間帯による差はあまり見られなかった。問5「どのような目的で使用していますか?」では、「課題・レポート作成」が87.6%と最も高く、次いで「印刷」の56.2%であった。専攻別・性別での大きな差は見られなかったが、学年別は、1~3年生は10%前後の「論文作成」が、4年は60.8%であった。

3) 更改前後の利用頻度, 平均利用時間, 利用時間帯の比較

(1) 利用頻度 (図1) では、「ほぼ毎日」が更改前は0.8%であったのに対し、更改後は1.6%になり、「週に3~4日」が更改前は10.5%であったのが更改後には20.2%それぞれ約2倍に増加した。また、「利用したことがない」は更改前が2.3%であったのに対し、更改後は0.4%とほぼ0になり、「ほとんど利用しない」は13.6%から6.2%と半分に減少した。

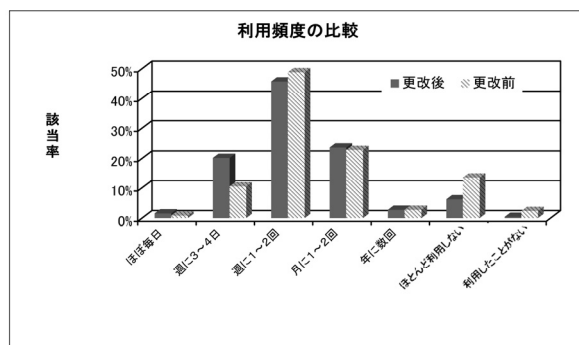


図1 更改前後の利用頻度の比較

(2) 利用時間 (図2) では、授業の空き時間や休憩時間に利用するため大きな変化は見られなかったが、1時間以内の利用が若干減少し、1~4時間の利用が増加している。

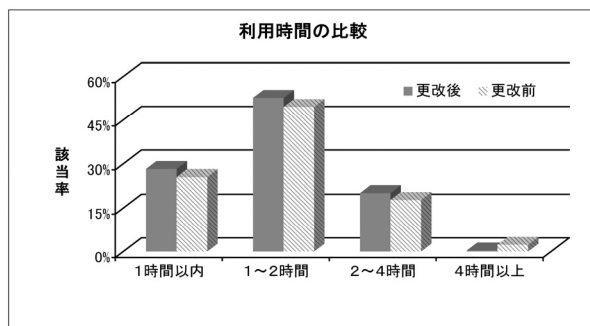


図2 更改前後の利用時間の比較

(3) 利用時間帯 (図3) では、全ての時間帯で利用者が増加し、更改前にはなかった8:40以前の利用が出現した。8:40~12:15では、更改前が9.3%であったのに対し、更改後に17.4%となり8.1%増加した。また、12:15~13:15の昼休み時には、更改前が28.3%であったのに対し、更改後は41.9%と利用者が13.6%増加している。

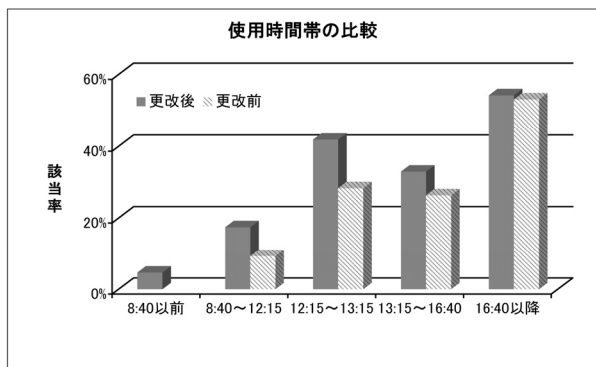


図3 更改前後の利用時間帯の比較

4) 現在の環境を5段階で評価

表5 満足度結果

アンケート項目	← 普通 →					満足率
	満足 5	4	3	2	不満 1	
利用時間	66.0%	14.2%	15.6%	0.0%	1.2%	80.2%
PC操作の快適性	40.6%	22.4%	24.5%	6.6%	1.9%	63.0%
PC台数の適切さ	16.9%	13.3%	25.6%	23.7%	17.1%	30.3%
ソフトのバージョン	44.1%	22.8%	21.8%	5.0%	1.9%	66.9%
印刷の快適さ	27.6%	15.3%	33.0%	12.8%	5.0%	42.9%
集中できる環境	15.1%	14.9%	39.2%	16.7%	7.4%	30.0%
罰則の廃止	43.3%	11.8%	26.4%	3.5%	5.8%	55.1%
以前と比較して快適になったか	46.1%	26.8%	20.6%	1.2%	2.3%	72.9%

満足率=そう思う+ややそう思う

満足度では、全体の72.9%が更改前と比べて快適になったと回答した。満足度に関わる要因で最も評価が高いのは「利用時間」の80.2%で、次に「ソフトのバージョン」の66.9%、「操作の快適性」の63%であった。低い満足率にとどまったのは、「PC台数の適切さ」の30.3%と「集中できる環境」の30.0%である。

5) 予約制度について

問1. 予約は必要だと思いますか?

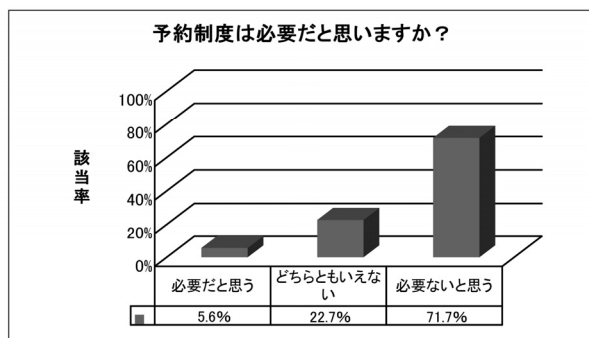


図4

問2. 自由に使用できるようになり、使い易くなったと感じますか?

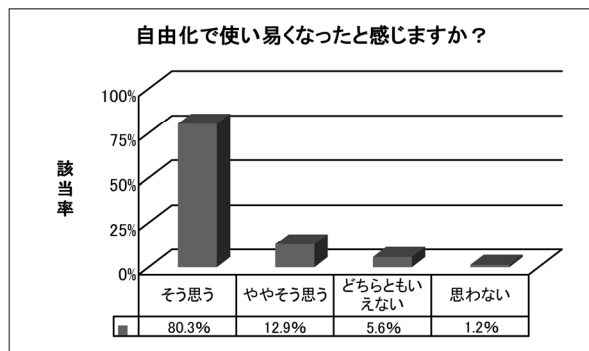


図5

問1の「予約は必要だと思いますか?」に、全体の71%以上が「必要ない」と回答し、「必要だと思う」は5.6%であった(図4)。また、問2の「自由に使用できるようになり、使い易くなったと感じますか?」では、「そう思う」「ややそう思う」が全体の93%以上を占めた(図5)。

4. 考察

PC自習室の更改により、以前は利用しなかった学生が利用するようになり、利用回数も増え、特に週3~4日利用する学生が多くなった。これは、満足度評価で「時間的に利用しやすくなったか」の質問に「そう思う」と回答した学生が多かったことと一致する。また他に、「パソコン操作が快適になった」「ExcelやWordなどのバージョンが新しくなってよかった」に「そう思う」と回答した学生が多かったことから、不具合が多かったPCが更改により安定したこと、また、アプリケーションソフト

トのバージョンが最新のものになり、互換性を気にすることなくファイル保存などの操作ができるようになったことも利用増加の要因として考えられる。また、自由化の満足度が高いことから、予約制度と罰則の廃止が利用増加に大きく影響していると考えられる。

更改後の大きな変化として、8:40以前に利用する学生の発現が挙げられる(図2)。学生が予約時に記入していた予約申込台帳には8:40以降しか存在せず、更改前には利用することができなかった時間帯であるため、これは、予約制度の廃止と密接に関連する。新環境では予約の必要がなくなり登校直後の利用が可能になったことで、学生は始業前の時間帯を有効に利用し始めたようである。表4から、この時間帯の利用は2年以上の学年に見られ、特に3年が14.1%と最も高く、専攻別ではPT、性別では女子の数が最も高いことから、3年PT女子学生がこの時間帯を積極的に利用していると思われる。

また、更改前(表3)は1年生の30.6%が「ほとんど利用しない」7.1%が「利用したことがない」であったのに対し、更改後は「ほとんど利用しない」が12.9%と大幅に減少し、「利用したことがない」は0%になった。これは、利用回数が増えたか、の問いに1年生の49.4%が「増えた」(表4)と回答した事とも一致する。

現在の利用状況(表4)では、利用時間で性別による特徴が見られた。8:40~16:40の間で比較すると、男子は昼休みにあたる12:15~13:15の利用が50%以上を占め、それ以外の時間との差が20%以上あったのに対し、女子は、20~30%台で時間帯による差がそれほど見られなかった。また、2時間以内の利用を男女別で見ると、男子が88.3%、女子が75.0%と男子の方が13%高いことから、男子は回転率が高く、女子の方が長時間利用していると考えられる。女子は授業の空き時間などを利用し、混雑を回避する工夫をしながら、落ち着いて利用しているようである。

学年による差も見られ、学年が上がるほど利用時間や利用頻度も高くなっている(表4)。これは、使用目的の「課題・レポート作成」「論文作成」「文献検索」など、思考を伴う項目にも同じ傾向が見られることから、上級生になるほどPC自習室が、単にデータや文字を打ち込むための場ではなく、考えるための場所としても活用されていることがわかる。現在困っていることや要望の具体的な記述に「グループワーク時に騒がしい」「マナーが悪くなった」があることから、「学習に集中できる環境」の30%の満足度(表5)を改善するには、

学習に適した静かな環境にするための施策を考える必要があると言えるだろう。

パソコン台数の適切さの満足度が30%にとどまったことは、利用者増加に伴う新たな問題が発生したと考えられる。更改によりPC台数が8台増加したにも関わらず不満を感じるのは、利用者が増加したことによる結果であると考えられる。使用目的の具体的な記述にも「教員にレポートをメールで送る」「グループワーク」が多数あったが、授業ではレポートや課題が提示されることが多く、特に必修科目ではほぼ全員がほぼ同時期に作成するため、使用時間が重なり、混雑することは免れない。この混雑は一時的なものであり、時間経過に伴い解消していくものと考えられるが、PC台数を増やす、混雑が予想されるときは1回の利用時間を制限する、などの対策も講じる必要があるようである。

現在困っている事・要望の具体的な記述として、「印刷用紙の補充(特に事務窓口終了後)を考えてほしい」「プリンタの増設(大量に印刷する人がいる場合待たなければならない、故障が多い)」が多数あった。これについてはプリンタ台数を増やすなどの対応を早急に考える必要がある。

予約制度については、全体の90%以上が「予約がなくなり使い易くなった」と回答し、以前よりも利用時間帯に幅が出たことから、学生は自分自身のペースで自由に利用できることを使いやすと感じていることがわかる。具体的な記述では、「予約の為に事務室とPC自習室を往復する時間がもったいなかった」「ゆとりができた」など、予約に係る時間が短縮されたことを評価する声が多く、次いで「授業で疑問に思った事を休憩時間にすぐ調べられるようになった」「印刷の数分程度の使用が楽になった」「予約制では事務窓口終了後に、急に使う必要が出て使用できず不便だった」「予約しても使わない人がいて、席は空いているのに使えない事が多かった」など利便性を評価する声も多かった。また「予約手続きの度に事務の仕事の邪魔をしているのではないかと思った」と遠慮で利用しづらかったという意見もあった。限られた台数を有効に活用するという点では、予約制度にも一定の意義はあったと考えるが、自由化の満足度が高いことから、従来の予約制度の撤廃は有効であったと考えられる。ただし、混雑などで必要な時に利用できない矛盾も生じていることから、確実に使いたい時は本人が簡単に予約できるような運用システムの導入も、今後検討する必要があるのではないだろうか。

5. まとめ

総合的に見て、新しい環境は概ね学生に快適と受け止められている。特に予約制度廃止については満足度の高さから学生から高い評価を受けていることがわかる。また、利用回数、利用頻度、平均使用時間全てにおいて増加傾向にあることで、学生は新しい環境になり PC 自習室を積極的に活用していると考えられる。

今回の調査の結果、自由化による騒がしさ、プリンタの台数不足、印刷用紙の補充、など新たな不満点も浮かび上がってきた。利便性・快適性を向上させ、学生がストレスなく利用できる環境づくりのために対応策を考えることに取り組んでいきたい。また、今後もこうした調査を継続し、学生が快適に学習できる環境を提供していくことにより、本学の高等教育機関としての情報教育の高度化と充実を図っていきたい。

<参考文献>

- 1) 文部科学省 教育振興基本計画『第2期教育振興基本計画の策定に向けた基本的な考え方』
- 2) 文部科学省 学校基本調査（平成22年度、平成23年度速報）
- 3) 『京都大学卒業者の意識調査：京都大学で受けた教育の評価と人生観』 京都大学高等教育叢書(1997), 1: 1-272
- 4) 田川 隆博『学生満足度の分析』名古屋文理大学紀要 11号(2011)
- 5) 三池 克明『CS分析の基礎』

PC自習室・利用者アンケート

2011年9月に「4階PC自習室」の機器と環境が新しくなり、
予約せずに使用できるようになりました。

これについてアンケート調査を実施したいと思いますので、ご協力をお願いします。

あなた自身についてお尋ねします。あてはまるものに○を付けてください。

1. 性別 ()男 ()女
2. 専攻 ()PT ()OT
3. 学年 ()1年生 ()2年生 ()3年生 ()4年生 ()その他

1. 現在の利用状況についてお尋ねします。

①以前に比べて、利用回数は増えましたか？

- ()増えた ()変わらない ()減った ()わからない

②どれくらいの頻度で利用していますか？1つだけ○を付けて下さい。

- ()ほぼ毎日 ()週に3～4日 ()週に1～2回 ()月に1～2回
()年に数回 ()ほとんど利用しない ()利用したことがない

③1日に利用する時間は平均どれくらいですか？1つだけ○を付けて下さい。

- ()1時間以内 ()1～2時間 ()2～4時間 ()4時間以上

④使用頻度の高い時間帯を選んで下さい。(複数可)

- ()8:40 以前 ()8:40～12:15 ()12:15～13:15 ()13:15～16:40 ()16:40 以降

⑤どのような目的で使用していますか？(複数可)

- ()自習学習 ()課題・レポート作成 ()論文作成 ()印刷
()文献検索・調べ物 ()インターネットの閲覧
()その他

具体的に：

2. 2011年9月以前のPC自習室の利用状況についてお尋ねします。

① どれくらいの頻度で利用していましたか？1つだけ○を付けて下さい。

- ほぼ毎日 週に3～4日 週に1～2回 月に1～2回
 年に数回 ほとんど利用しない 利用したことがない

② 1日に利用する時間は平均どれくらいでしたか？1つだけ○を付けて下さい。

- 1時間以内 1～2時間 2～4時間 4時間以上

③ 使用頻度の高かった時間帯を選んで下さい。(複数可)

- 8:40～12:15 12:15～13:15 13:15～16:40 16:40以降

④ 16:40以降も予約ができることを知っていましたか？

- 知っていた 知らなかった どちらともいえない

3. 以前は事務窓口での予約が必要でしたが、それについてお伺いします。

① 予約は必要だと思いますか？

- 必要だと思う どちらともいえない 必要ないと思う

② 自由に使用できるようになって、使いやすくなったと感じますか？

- そう思う ややそう思う どちらともいえない 思わない

③ 使いやすくなったと思う方も、思わない方も、どのような点でそう思われましたか？

具体的にご記入ください。

--

4. 現在のPC自習室の環境について5段階で評価し、該当番号に○をつけて下さい。

質 問	5 そう思う	4 やや思う	3 普通	2 あまり思わない	1 思わない	0 わからない	気づいた事などを具体的に
時間的に利用しやすくなった	5	4	3	2	1	0	
パソコン操作が快適になった	5	4	3	2	1	0	
パソコンの台数は適切である	5	4	3	2	1	0	
Word や Excel などのバージョンが新しくなって良かった	5	4	3	2	1	0	
印刷が快適に利用できる	5	4	3	2	1	0	
学習に集中できる環境になった	5	4	3	2	1	0	
罰則が無くなってよかった	5	4	3	2	1	0	
以前と比べて快適になった	5	4	3	2	1	0	
現在、困っている事があればご記入下さい。							
その他、意見や要望などがあれば自由にご記入下さい。							

これでアンケートは終了です。

ありがとうございました。

The effect of PC lab renewal on the usage and student satisfaction

Hiromi ATARASHI

Shijonawate gakuen university, Faculty of rehabilitation charge of PC

Key words

University, PC labs, Student Satisfaction, Questionnaire survey

Today, personal computers (PCs) are remarkably spread and the standard of IT education at universities, as the institute of higher education, has also been advanced. Accordingly, PCs are also important learning tools at our school, and to meet the drastically changing demands, we have renewed the PC labs on September 2011.

In this article, we present the results of surveys conducted before and after the renewal of the PC labs. More than 70% of the students reported the labs could be used more comfortably after the renewal, and it is identified that the frequency and the length of the use have been increased. We also have found that differences based on the grade and gender of the students, such as female students use the lab longer than male students, or, senior students prefer more quiet learning environment.